

1 テーマ

「心をひとつに挑戦しよう！『かながわの学校事務』」

2 サブテーマ

～求められる学校事務職員であり続けるために～

Ver.2

3 研究提案概要及び討議の柱

近年、若年層の学校事務職員が増え、世代交代や経験の継承、学校事務職員のあり方などについても話題になっています。

神奈川県はこれまで各地区、各個人の独自性を大事にしながら、緩やかに学校事務職員制度を確立してきました。このような状況を踏まえ、新しい時代の学校事務のあり方を念頭においた、かながわのスタンダードを考えることを目的として研究を進めてきました。

昨年度、神奈川県学校事務研究大会において、「連携」をキーワードとして中間報告的な提案を行いました。チーム力で神奈川の学校事務の高い水準での標準化をめざしていくためのきっかけとして、会場全体で今後の学校事務のあり方を考えることができた研究発表となりました。そして私たちは、「連携」を進める中で職務の領域や機能を考えると同時に、キャリアデザインやキャリアに応じた職務内容の構築の必要性も強く感じ、更に研究を深めてきました。

今大会では、昨年度の大会参加者の意見も参考に学校事務職員の職務や役割の明確化、共同実施・事務組織の機能と役割等、「連携」を柱とした新しい時代のニーズに対応するために、また、明日から始められるようなリアリティを追求した『かながわの学校事務』を提案します。

1. 学校事務職員の弱点克服、意識転換、力量形成のための「連携」とは
2. 共同実施・事務組織の成果と課題、グループリーダーの権限と責任
3. 学校の構造転換と「チーム学校」における学校事務職員の役割と機能